只見町ブナセンター
TEL 0241(72)8355

ミヤマナラの花（学名：*Quercus crispula var. horikawae*）

［ブナ目 ブナ科　コナラ属］

▲食雪地形の崖に張り付くミヤマナラ

▲浅草岳山頂のミヤマナラ

▲雌花からふくらみかけた実

▲ミヤマナラの雄花

ミヤマナラは、ミズナラの矮化（わいか）（背が低くなった）変種で、コナラやミズナラと同様にドングリをつける樹木です。只見町の特徴的な景観である雪食地形の雪崩斜面に張り付くように生育しています。急傾斜地に生えるものは、根本が下にひどく曲がっており、しなやかな枝で雪の力を分散し雪崩の力に耐えます。ミヤマナラは、浅草岳山頂の緩斜面にも生育しています。ここもまた、冬期には日本海から吹き上がる厳しい風雪にさらされるため、ミヤマナラは雪を耐え忍ぶ只見らしい植物のひとつと言うことができるでしょう。只見町ではシバナラと呼ばれ、燃料材などとして利用されてきました。

要害山の山開きの際に、登山道の脇に見られる新緑があざやかな低木がミヤマナラです。そしてこの時、ミヤマナラの花を見ることができます。4月～5月、ミヤマナラの冬芽が開くと、新しい枝が伸びて、葉が開きます。やわらかな新しい葉のついた枝の下方から糸状のものがぶら下がっています。これは雄花の花柄で、ここに小さな花がまばらにつきます。1本の木に雄花と雌花の両方をつけますが、雌花は、葉の付け根につき、赤く堅い突起のようです。色のきれいな花も素敵ですが、このような地味な花を見つけるのも楽しいのではないでしょうか。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

「春植物の生活史 つかの間の季節を生きる色とりどりの花たち」
期　間：３月12日（土）～６月13日（月）
問い合わせ先：只見町ブナセンター　電話0241-72-8355

※この広報紙は再生紙を使用しています

VEGETABLE OIL INK
※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

■ 発行／只見町　〒968-0498 福島県南会津郡只見町大字只見字雨堤1039
■ 編集／総務課総務係　http://www.tadami.gr.jp/　☎0241(82)5210